

社会貢献活動

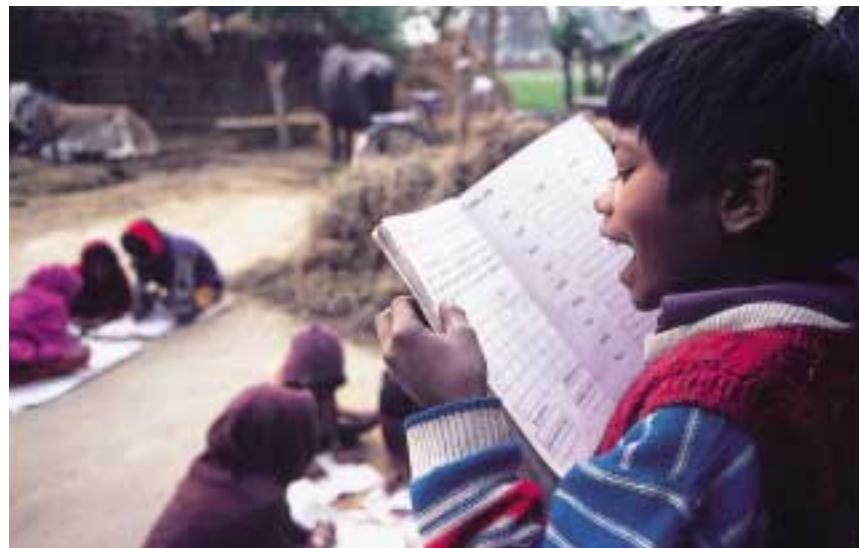
ファミリーマートの企業理念「CO-GROWING」には、社会とともに成長、発展していくという想いが込められています。社会に対する貢献は、企業市民としての使命であるという認識のもとに、今年度もさまざまな活動に取り組みました。

セーブ・ザ・チルドレンに協力

国際的なNGOの団体であるセーブ・ザ・チルドレンの活動を支援し、1993年より全国の店舗のレジカウンターに募金箱を設置しています。募金箱設置という方法は、地域の生活に密着して数多くの店舗を展開するコンビニエンスストアの特性を活かした、最適の社会貢献であると考えます。身近で、いつでも気軽に、安心して募金できる場を地域の人々に提供し、アジアの子どもたちの教育や生活改善と自立を支援するために、今後も協力を続けていきます。

□ 支援実績

2000年度の募金総額 4,997万5,289円
1993年以来の累計総額
2億8,564万4,358円



学校に行けない子どもたちのための教室(ネパール)

「セーブ・ザ・チルドレン」とは

第一次世界大戦後の1919年に英国で創立。「子どもの権利を世界中で実現する」という理念のもとに現在30団体(30カ国)が加盟し、世界100カ国以上で支援活動を行っています。世界のNGOの代表格として、各国政府や国連組織からも重要性を認められています。

日本のセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、現在アジア5カ国(ネパール、ベトナム、タイ、フィリピン、ミャンマー)で、貧困地域の子どもの教育支援、栄養不良の子どもの栄養・発育促進事業、エイズ・薬物中毒の予防・啓発活動などさまざまな草の根の支援を続けています。

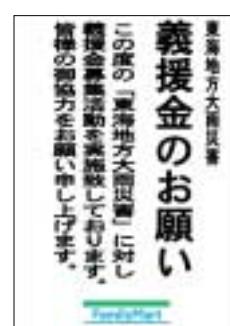


災害義援金募集活動

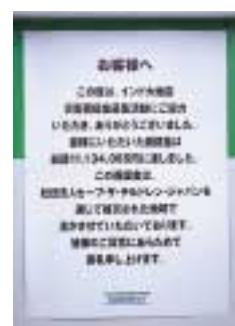
大規模な災害が生じたときには、全国、あるいは特定地域の店舗において災害義援金募集を実施しています。ポスターなどお客様へ呼びかけて募金活動にご協力をいただき、被災地に対する迅速な義援活動を行っています。今年度は3回の活動を実施しました。募金総額や寄付委託先については、お客様へのお礼のポスターの中で報告しています。

□ 2000年度の義援活動

活動名	期間	活動地域	義援金総額	寄付委託先
伊豆諸島地震活動災害義援金募集	9月10日～25日	全国	8,328,719円	日本赤十字社
東海地方大雨災害義援金募集	9月15日～10月31日	東海中部リージョン	1,506,310円	愛知県災害対策本部
インド大地震義援金募集	2001年2月9日～3月3日	全国	11,134,065円	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



ご協力お願いのポスター



お礼報告のポスター

地域のセーフティステーションをめざして

コンビニエンスストアは、地域の要所に点在し、深夜にも営業を行っていることから、地域の安全活動の一翼を担う存在ともなりえます。しかし、一方では、強盗の被害を受けたり、青少年の非行のたまり場になったりしていると指摘される店舗もあります。また、未成年者への酒類・タバコ販売や、18歳未満の青少年への不健全図書の販売が社会問題として取り上げられるなど、コンビニエンスストアを取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような情勢のもと、ファミリーマートでは、全国に展開するすべての店舗が地域の人々にとって便利で頼れる存在、安心感の拠り所としての「セーフティステーション（地域安全活動拠点）」となることを目標に掲げ、2000年度に本格的な取り組みをスタートしました。

10月からはなお一層の強化を図るために、スーパーバイザーが毎週、チェックリストによる点検を実施しています。

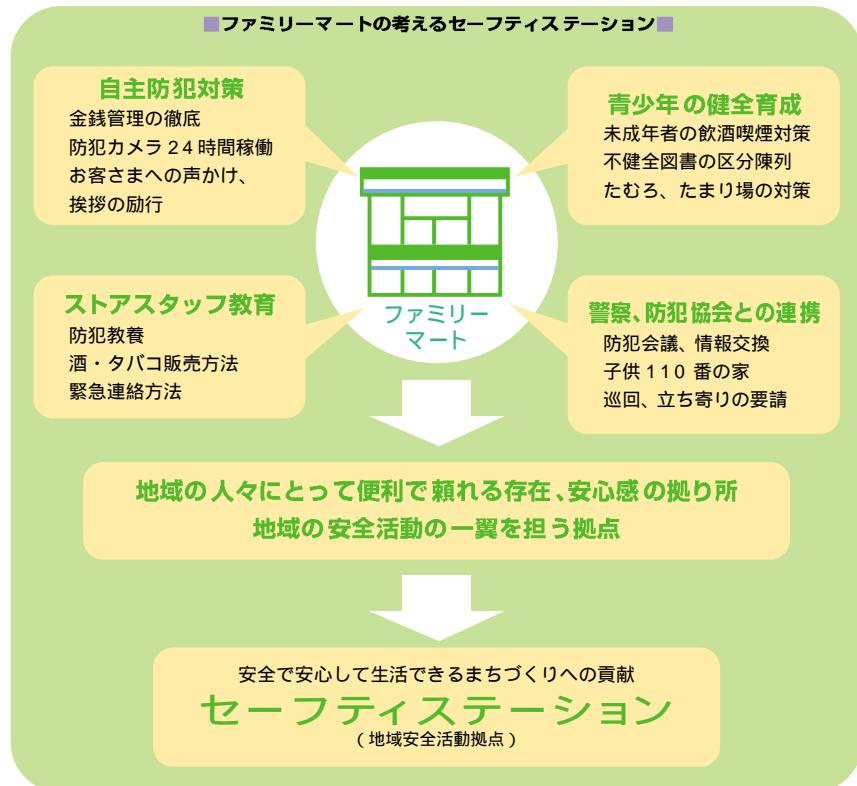
未成年者への酒・タバコ販売防止に取り組んでいます

セーフティステーションの活動の中でも、特に力を注いでいるのが、未成年者に対する酒類及びタバコの販売防止です。確実な成果を上げるために、多角的な取り組みを進めています。

■■■ストアスタッフ研修 (10月より強化)

①研修用ビデオの視聴

お酒が未成年者に与える影響、法律などについてのビデオを見ます。



②POSレジによるロールプレイング

年齢確認の仕方、販売の断り方などを実習します。

ストアスタッフ全員への実施を目標とし、研修終了者は「未成年者飲酒防止ワッペン」を付けます。

■■■お客さまへの告知活動 (5月より強化)

①告知POPを掲示

レジ、入口ドア、酒・タバコ売場、ウォーキングインに掲示しています。

②音声・画像による告知

店内BGMやレジ液晶画面でも告知を流しています。

数多くの告知により、お客さまに理解を深めていただき、未成年者への年齢確認がしやすい環境をつくっています。

■■■警告メッセージ表示 (11月より始動)

POSレジで、酒・タバコを登録して

未成年の客層ボタンを押すと、ストアスタッフに対して、年齢確認の警告メッセージが表示されるシステムを導入しました。

18歳未満の青少年への不健全図書の販売防止に取り組んでいます

不健全図書の区分陳列の徹底、陳列棚に「青少年への閲覧・購入禁止」のPOP掲示(8月より)、店内BGMによる告知(10月より)などを実施し、取り組みを強化しています。



警視庁企画のコンビニエンスストア防犯対策ビデオ「セーフティステーションを目指して」に撮影協力しました。写真は撮影風景

二十一世紀会の活動

ファミリーマートと主要取引先企業（149社、2001年2月末現在）が相互に研究、取り組みなどを行うことを目的として発足した「二十一世紀会」（1995～）でも、環境対策活動や社会福祉活動に取り組んできました。

環境対策活動

1997年度より「人と環境に優しい」をテーマとして、3年間にわたり環境対策活動に取り組んできました。環境対策視察研修や、環境セミナーの実施、会員企業のISO14001認証取得推進

□二十一世紀会の環境対策活動

年度	視察研修	環境対策セミナーのテーマ	参加
1997	ヨーロッパの環境対策を学ぶ（スウェーデン、ドイツ、イギリス、フランス） ・イエボリ国際環境見本市 ・環境公害対策OECD本部	「環境マネジメントシステムへの取り組み」	26社30名
1998	・東京湾中央防波堤埋め立て処分場及び不燃物処理場 ・ペットボトル再生処理工場 ・ファミリーマートの「エコショップ」つくば谷田部店	「企業における環境対策の取り組み」	98社157名
1999	富士写真フィルム足柄工場「写るんです」循環生産システム	「環境マインドが職場を変える、社会を変える」	95社160名

□二十一世紀会の社会福祉活動

時期	寄贈先	寄贈内容
1998年2月	福島県障害者スポーツ協会	50万円
1999年5月	和歌山県老人福祉施設協議会	50万円
2000年2月	福山市社会福祉協議会	50万円（老人福祉施設に老人ショミレーター）
2000年11月	広島市	50万円（障害者福祉施設に冷蔵庫、ジャー・ポット、ミキサー）

臓器提供 意思表示カードを設置

ファミリーマートは臓器提供意思表示カード（ドナーカード）の普及を支援し、1999年4月より全店舗に同カードとパンフレットを設置、臓器提供

が主な活動内容です。2000年度には第一取り組み目標としての環境対策活動を一応終了しましたが、今後も常に環境を視野に入れた活動を続けていきます。

社会福祉活動

1997年度より、ファミリーマートの新規出店エリアを対象として福祉増進に貢献しています。



ネットワークへの参加

地球環境問題を解決していくには、行政、企業、市民、NGOなどがそれに主体的な取り組みを進めていく一方で、互いにパートナーとして連携を深め、環境保全活動のさらなる拡大・進歩のために力を合わせていかねばなりません。ファミリーマートは2つのネットワークに企業会員として参加、活動を行っています。

「環境事業団・環境保全活動促進ネットワーク」（1998年5月より参加）

環境事業団・地球環境基金が1996年に設立。国内外で環境保全活動に取り組む企業とNGOなどにより構成され、環境に係わるさまざまな情報交換や相互の交流、国・地方公共団体との交流により、環境保全活動の一層の促進を図っています。

グリーン購入ネットワーク（1997年7月より参加）

日本におけるグリーン購入の取り組みを促進するために1996年に設立された、企業・行政・消費者のゆるやかなネットワーク。全国の多種多様な団体が同じ購入者の立場で参加し、グリーン購入の普及・啓発、商品選択に役立つ指針の策定やデータの収集・提供などの活動を行っています。



グリーン購入ネットワークのロゴマーク

の意思のある人が店頭でカードを得る機会を提供しています。

